

# 資本と地域

## 第12号

---

巻頭言	鎌倉 健 (1)
論文Ⅰ	
ベトナム農村における持続可能な観光開発のあり方 ——ハイズオン省を事例に——	カオ タン フエン (3)
論文Ⅱ	
自治体の生活保護制度運用実態と社会的費用	川久保 堯弘 (28)
論文Ⅲ	
「山工場」から「海工場」へ ——輸入作物に依存した植物油複合体の成立過程——	平賀 緑 (48)
研究ノート	
地方都市における産業創出の分析に関する準備的考察 ——岡山県真庭市の木質バイオマス利活用過程の再検討に向けて——	中村 聡志 (62)
書評	
倪卉 著『蚕糸と現代中国』京都大学学術出版会、2016年	陳慕薇 (70)
地球をあるく	
イギリス留学記 ——社会への介入の作法としての開発学——	片野直子 (72)
地域経済の現場からⅠ	
3・11を契機にはじまったエネルギー見直しの活動 ——NPO法人 市民共同発電をひろげる城陽の会の足取り——	杉浦喜代一 (74)
地域経済の現場からⅡ	
企業用地造成事業に関する情報公開請求	牧野幸雄 (78)
研究会活動報告	(80)
会員紹介	(81)
地域経済研究会会則、投稿規定	

## 地域経済研究会の会則及び概要

### 地域経済研究会会則

#### 第1条 (名称)

本会は、地域経済研究会と称する。

#### 第2条 (目的)

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

#### 第3条 (事業内容)

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適當な諸事業を行う。

#### 第4条 (会員)

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

#### 第5条 (代表者)

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

#### 第6条 (事務局)

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

#### 第7条 (事務所)

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

#### 第8条 (設立年月日)

本会は、1996年5月11日に設立する。

### 地域経済研究会の概要

#### 【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

#### 【会の略史】

1996年5月11日(土) 第1回研究会開催

2017年2月19日(日) 第109回研究会開催

#### 【代表者】

岡田知弘(京都大学大学院経済学研究科教授)

#### 【事務局・会計担当者】

望月理生(京都大学大学院経済学研究科)

金 佑 榮(京都大学大学院経済学研究科)

#### 【機関誌】

『資本と地域』(毎年1回発行)

#### 【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax : 075-753-3462 (研究室直通)

E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp

## 投稿規程と執筆要項

### 投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は原則として、毎年1回発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
  - (1) 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
  - (2) 他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
  - (3) 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
    - ・ 原稿のファイル
    - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 投稿原稿については編集委員会で審査し、掲載の採否を決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回(初校のみ)とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は地域経済研究会に帰属するものとする。なお、論文等は一定期間経過後、電子メディアによる論文情報検索・参照サービス等を利用して公開する。
9. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛(okada@econ.kyoto-u.ac.jp)とする。

### 執筆要項

1. 論文は図表を含めて上限を30,000字程度とする。
2. 研究ノートは図表を含めて上限を20,000字程度とする。
3. 書評は4,000字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて1桁1字(欧文および数字は1桁2字)で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参考文献の表示方法については、WEBサイト(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>)において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資(史)料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字(正字)の部分を通用の書体(新字)に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ%、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5億6,524万円」のように適宜単位を補ってもよい。
8. 謝辞は掲載できない。

「2012年2月 一部改正」

## 編集者のひとり言

『資本と地域』第12号をお手元にお届けさせていただきます。まずは、巻頭言をご執筆戴きました鎌倉先生をはじめ、論文や研究ノート、エッセイの執筆者の方々に御礼申し上げます。また、地域経済研究会のために、会費やカンパを戴いた会員の方々のご協力に厚く御礼申し上げます。毎年のことながら、多くの方に支えられて、今年も『資本と地域』を無事に発刊できたことを喜ばしく思います。

今回も牧野さん、金くん、陳さんに加え、新しく北村くんが編集委員として活躍してくれました。オブザーバーの水島さんにも色々と相談に乗ってもらいました。皆さん、お疲れ様でした。

さて、今回の号をもちまして、三重は編集委員長としての立場を降りることになります。次号も編集委員としては携わりますが、まずは3年間ありがとうございました。次号第13号の発行は新しい編集委員長の下での体制で進めていくこととなります。どうぞ、次号も皆様のご協力ほど、どうぞよろしく願いいたします。

(三重 遷一)

『資本と地域』第12号編集委員会

編集委員長：三重 遷一

編集委員：牧野 幸雄、金 佑 榮、陳 慕 薇、北村 洵

オブザーバー：水島 和哉

## 資本と地域 第12号

2017年3月発行

発行人	岡田知弘
発行所	地域経済研究会
連絡先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室 Tel/Fax：075-753-3462（研究室直通） E-mail：okada@econ.kyoto-u.ac.jp 口座番号：00940-1-167133
印刷所	（株）田中プリント 〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入 Tel 075-343-0006